

工房

# 夢来夢來

む ろ め る む ろ

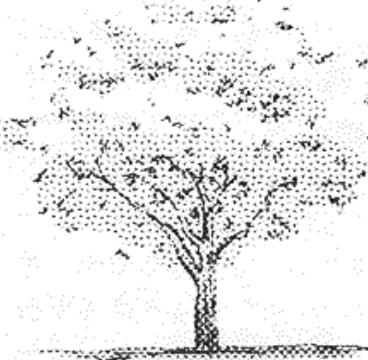
## かわらばん

第13号 平成11年6月発行

狭山市狭山台4-25 狹山台南小学校内

TEL&FAX 042-956-5364

発行責任者 吉田幸子



あちらこちらと競う様に咲くあじさいが雨にぬれて一段と美しい季節となりました。ここに今年初めてのかわらばん13号を発行させていただきます。

さて、夢来夢來も今年で5年目になりました。私も最初からお世話になっている一人です。その頃から思えば、様子も変わり、入所生も増え、皆様にも知れ渡ってきました。とてもうれしい事です。うれしい中にも、いろいろと問題点もあります。

そんな中で今年度、私が代表というお役を引き受けさせていただきました。宜しくお願い致します。初めての経験です。皆様の御協力を得ながら自分の勉強のつもりで頑張らせていただきます。

皆様一人一人満足していただく事はできないかと思いますが、私達も長い時間をかけてゆっくりやっていきたいと思います。ボランティアの方々も増え大変ありがたい事です。狹障連で運営して頂いている現状ですので限界がありますが、運営委員会にはかりながら、よりよい方向に広げていこうと思います。

一人でも多くの在宅障害者が外に出られて、自分の可能性を見い出し、楽しく送れる、そんな工房にしていきたいと願っております。

私は中途失明です。見えない部分、お世話になると思いますが、皆様宜しくお願い致します。

吉田 幸子



## 水曜ニュース

主に、パソコン、編み物、織り機、洋裁をやっています。

最近では、パソコンで、目の見えない人でも使える音声のパソコンを使って文字入力しています。

編み物ではアクリルタワシを作っています。

織り機ではかべかけ、ポシェット、名古屋帯を作っています。

洋裁ではキャンディークッション、バッグ、ズボンを作っています。

それでは、水曜日のボランティアさんのレポートをどうぞご覧下さい。

### 夢来夢来と私

園田 佳興子

2年前からAさんのボランティアとして夢来夢来に顔をださせていただくようになりました。それまでは、グループ活動として個人宅や老人福祉施設などへの訪問をしていました。

夢来夢来へきて、まず、感じた事は、体に障害のある方々が、和氣あいあいと、また熱心に自分の作業に集中していて活ることへの力がそこにはありました。

このことに私はとても感銘を覚えました。それと同時に「私もしっかりしなくつちや」と勇気づけられもいたしました。

6ヶ月前から「やってみたいなあ」と思っていた機織にも心良く参加させていただけすることになりました。

不器用な私も、素晴らしいお師匠さん方

のご指導のお陰で、なんとか作品をつくれるようになりました。最近はすこし余裕もでてきて「この作品が売れたらいいな」との思いを込めながらも織っています。

機織の他、夢来夢来では、編物、洋裁、工芸、コンピューター等とそれぞれの人がそれぞれの興味を生かして、いきいきと活動されています。

体が不自由であるなしにかかわらず、ここへ来たことでお互いが刺激をしあい、これからも活ける希望がわいてくるような夢来夢来であってほしいと思っています。



## 脳卒中の治療

私は平成7年9月に脳卒中になり、左半身不随の1級中途障害者となりました。

医者にはリハビリをがんばって治しないと励まされ、リハビリをがんばってはみましたが、なかなか機能が回復するきさしが見えません。県立リハビリセンターで約1年近くがんばりましたが変わる事はありません。県リハで市川ドクターより現在米国で神経成長因子なるものが、かなり研究が進んでいるのであきらめずそのうちきっといい事があるのでリハビリに励む様、アドバイスを頂きました。その事を胸に退院し、自宅へ帰りリハビリ仲間のK・Oさんに神経成長因子の話をした所、それらしきものが新聞に載っていたよと話があり、その記事を見せてもらいました。

世界で初めての脳卒中の治療という記事を見て、眼の前がパッと明るくなり現在臨床試験中であるとの事で何としてもこの治療を受け様と思い、この特集記事を書いた、毎日新聞のワシントン支局の瀬川記者をつきとめ連絡をとり、治療を受ける為の段取り等相談しながら、K・Oさんと進めておりました。この度、治療を受けられる見通しとなりました。

ノバンザイ !!

この治療が確立されれば近い将来、脳の障害、セキズイ損傷、神経損傷も治る様になるでしょうとの博士のコメントが米国の新聞に載っています。

日本国民の障害者の前にも日本に於いて、初めて脳卒中を直し、K・Oさんと共に役に立てれば幸いだと思っております。

現在この治療は世界中が注目しており、かなり混雑している様なので、早く順番が回ってくるのを祈るのみです。

なぜチャンスなのかと言いますと、米国では脳卒中患者が年間約70万人もいて、治療の費用は政府が負担するとの事です。治療は無料ですが米国へ4回ほど行かなければなりません。それから検査等の為、約1ヶ月間滞在しなければなりません。

その費用は個人負担となります。

GOOD-BYE  
障害 !!

野口 弘光

# 私を愛して！

私を見て！

こっちを見て！

私を愛して！

ねえ、私を見てよ！

いくら、いくら叫んでも

気付いてくれない

どうしたら私を見てくれるの？

どうしたら私を愛してくれるの？

ねえ、どうしたら私を愛してくれるの？

お願い、こっちを向いて

大声で泣きわめいたり、壁に頭をぶつけたりしたのは

こっちを向いてほしかったから。

同情されたいのじゃなく。

ただ、こっちを向いてほしかったから。

そうしたら、気付いては、くれた……

けれど、少し落ち着くと、また、いつもの通り……

ねえ、ちゃんとこっちを向いて！

私に気付いて！

お願いだから。

（95.2.6）

卯水ようこ

1979年岩手県生まれ。

県立杜陵高等学校通信制在学中。

## 一粒のチャレンジ

浦海 純子

「ね、ね、この裁ち落としの布は何にいいかしら」

「マンドにしたいね」

「ウンでもスカートにいいかもよ」

「この虫食いの着物は?」・・・方々から寄せられた布地を前に、ワイワイガヤガヤの意見交換、色々のアイディアが飛び出しては、横に並べたり、縦に並べたり、それがおおよそボロ布としか片付けられない様な着物だったりしたものが、念入りに裂き織りに織られて、合成皮革をあしらったバッグ等に甦ったりして来ると、思わず喚声を上げたくなる程。

夢来夢来は今活きてますって感じです。

洋裁のボランティアとして私が通うようになって4年程になるのでしょうか。

狭障連の方達が自らのハンディを乗り越えて自主運営のこの工房を、より向上させようと懸命なお姿を目の当たりにして、私などすっかりあおられて、ついつい老いの背筋までもがのびて来るのだから嬉しくなります。

確かに各々が全く違ったハンディを背負いながらも、自己の対応出来る範囲に応じた関わり方で、そこへの責任を担つて管理運営するには、並々ならぬ御苦労が各々の肩にかかっていることと思えますのに、又とかくどこかに依存したり、

或いは自己中心的になりがちになることもあるうかとも思うに、お互いをかばいあって皆で助け合って運営して行こうとするその姿勢には、いつもながら頭が下がります。その様子を見守りながら、ボランティアは傍らからそっと応援していく。

思うに、この様な施設はきっと、全国的にも希少価値的存在にあるのではと思います。

お互いに自立の精神での関わり方をして、この施設を守ってゆくと言うその主体性を持った意識の有り様等、その自己の尊厳に基くものを貫く精神は、私など大いに見習い、尊重すべきなのではと思います。

「...粒一粒のチャレンジが、大きく大きく実を結ぶ。」ほのぼのとした気持ちにさせられます。ほんの微力しか持たない私ですが、私自身励まされながら、そっと応援してゆきたいと思います。

何卒今後とも老いの体の方が続くかぎり、お手伝いをさせて下さいね。

# ほつと・にゅーす

6月1日（火）真夏のよう暑い日。夢来夢來一行障害者9名、ボランティア10名、バス貸し切りでディズニーランドに行ってきました。

今回は主目的を夜のパレードと花火にしほり、出発を午後1時にして道路状況はグッド。帰りはすっかり遅くなりましたが、夕方のラッシュに遭わず、これはおススメです。

ウイークデイにもかかわらず何でこんなに混んでるの？ さすがディズニーランド!! 何があっても1度は行っておきたい所だもの。

障害者割引はないのですが車椅子優先ということで混雑の中、待たずに乗れる、見られる、の楽しい1日でした。



## 寄贈 ありがとうございました

多湖様	西武ハイツ	毛糸・布・手芸材料・古着など
原様	中央	電動車椅子
松本様	上広瀬	和服・サマーヤン
平井様	狭山	ジーンズ
中村様	北入曾	ダイニングセット
神田様	鶴の木	はぎれ・着物
佐々木様	北入曾	NECパソコン、プリンター、ラック、椅子

## 編集後記

かわらばんの発行、だいぶごぶさたして、申しわけございません。

刷新なったかわらばんいかがでしょうか。

パソコンを活用し試行錯誤の日でした。

世の中”パソコン使わなければ遅れてる”という風潮に意地でもついていきたいと思う気持ちと、なかなか動かない頭と。ま、時間はかかるつてもいろいろやってみるしかありません。これからも宜しくお願ひいたします。